

橋 り よ う 定 期 点 検 調 書

橋りょう番号 371800633023-

橋りょう名 ミヤバシ
宮橋

路 線 名 由塚線

所 在 地 琴浦町大字三好

橋りょう定期点検調書その 1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号		ブリガナ	ミヤバシ		架設年 (西暦)		橋長		— 径間数		— 桁種		事務所名		琴浦町		点検者		西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		点検日		2021/10/25						
371800633023-		名称	宮橋			S42 1967		35.0m		2		4 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名		由塚線									
交差区分 名称		3		洗川		上部工型式		2径間単純鋼H桁橋				調書区分数		1		積雪寒冷地		—		備 考 (補修履歴等)				詳細調査履歴					
橋りょう全幅員		4.30 m				下部工 形 式		A1橋台		RC逆T式橋台 (推定)				床版支間		2.40 m		凍結防止剤散布		—									
自動車交通量		ほとんどない 台/日						A2橋台		RC逆T式橋台 (推定)				支承材		鋼製		海岸からの距離		3.5km									
うち大型車交通量		台/日						橋 脚		RC壁式橋脚				伸縮装置		鋼製		鋼橋塗装系		—									
緊急輸送道路		—		次		基礎形式		不明				高欄種別		鋼製		橋面防水処理		—		緯度				経度					
																		35° 28′ 31.5″				133° 41′ 20.7″							
定期点検調書その1 総合点検結果		劣 化 ・ 損 傷 部 位			要 素 番 号		変状度		劣 化 ・ 損 傷 内 容								総合評価 (補修の時期・工法、緊急対応など)						健全性評価						
		上部工		コンクリート床版		①左側端張出し		iii		ひびわれ i、鉄筋露出 iii								水切り部付近のかぶり不足による鉄筋露出は、水の供給による鉄筋腐食が懸念される。また、中間床版の橋軸直角方向ひびわれは、比較的密に生じており、鉄筋腐食が懸念される。いずれも予防的な対策が望ましい。						II					
						②左側歩道下																							
						③車道下		iii		床版ひびわれ iii、ひびわれ ii																			
						④右側歩道下																							
						⑤右側端張出し		iii		ひびわれ i、鉄筋露出 iii、うき iii																			
				主 桁 (鋼 製)		①左側端耳桁		iv		腐食 iv								主桁全体に防食機能の劣化が観られ、端部の垂直補剛材に腐食による断面減少が観られる。耐荷性能が低下している可能性が高いため、対策が必要である。 添接部のボルトにはF9Tが使用されている。						III					
						②左側歩道下																							
						③車道下																							
						④右側歩道下																							
						⑤右側端耳桁		iv		腐食 iv																			
						横桁・縦桁等		⑥		iii		防食機能の劣化 iii																	
		下部工		橋 台		A1 [有筋]		i		A1橋台の鉄筋露出は局所的であり、乾燥収縮によるひびわれは、進行性はないことから、いずれも健全性に影響ないと判断し、経過観察とする。								I											
						A2 [有筋]		ii												ひびわれ i、鉄筋露出 ii									
				基 礎		橋台・橋脚とも		目視困難		橋脚天端のかぶり不足による鉄筋露出は、鉄筋腐食が進行すると橋座部の耐荷性能が低下する可能性があるため、予防的な対策が望ましい。乾燥収縮ひびわれおよび遊離石灰は、いずれも軽度であるため、健全性に影響ないと判断し、経過観察とする。								II											
						橋 脚 (1 基)		P1												iii		ひびわれ i、遊離石灰 ii、鉄筋露出 iii							
								P2																					
								P3																					
								P4																					
								P5																					
								P6																					
		支承部		支承本体 (アンカーボルト)				v		腐食 v								支承の腐食は著しく、荷重支持機能は有していると判断するが、変位追従機能は低下している可能性があるため、対策が必要である。						III					
				落橋防止装置 (鋼製部) 〃 (Co部) , 変位制限装置等																									
		路上部		舗 装				iii		路面の凹凸 iii								橋台背面の2cm程度の段差は、車両走行性の低下や歩行者の躓きが懸念される。伸縮装置の漏水は主桁端部、支承、下部工などの劣化要因となる。いずれも予防的な対策が望ましい。防護柵の防食機能の劣化は腐食に進展し、防護機能が低下する前の予防的な対策が望ましい。						II					
				伸縮装置				iii		止水機能 iii、漏水 iii																			
				排水桝・排水管				iv		腐食 iv																			
				点検施設																									
				地 覆				i																					
				鋼製高欄・防護柵 (ガードレール)				iv		腐食 iv																			
コンクリート高欄 (壁式)																													
																		橋りょうの健全性評価				III							

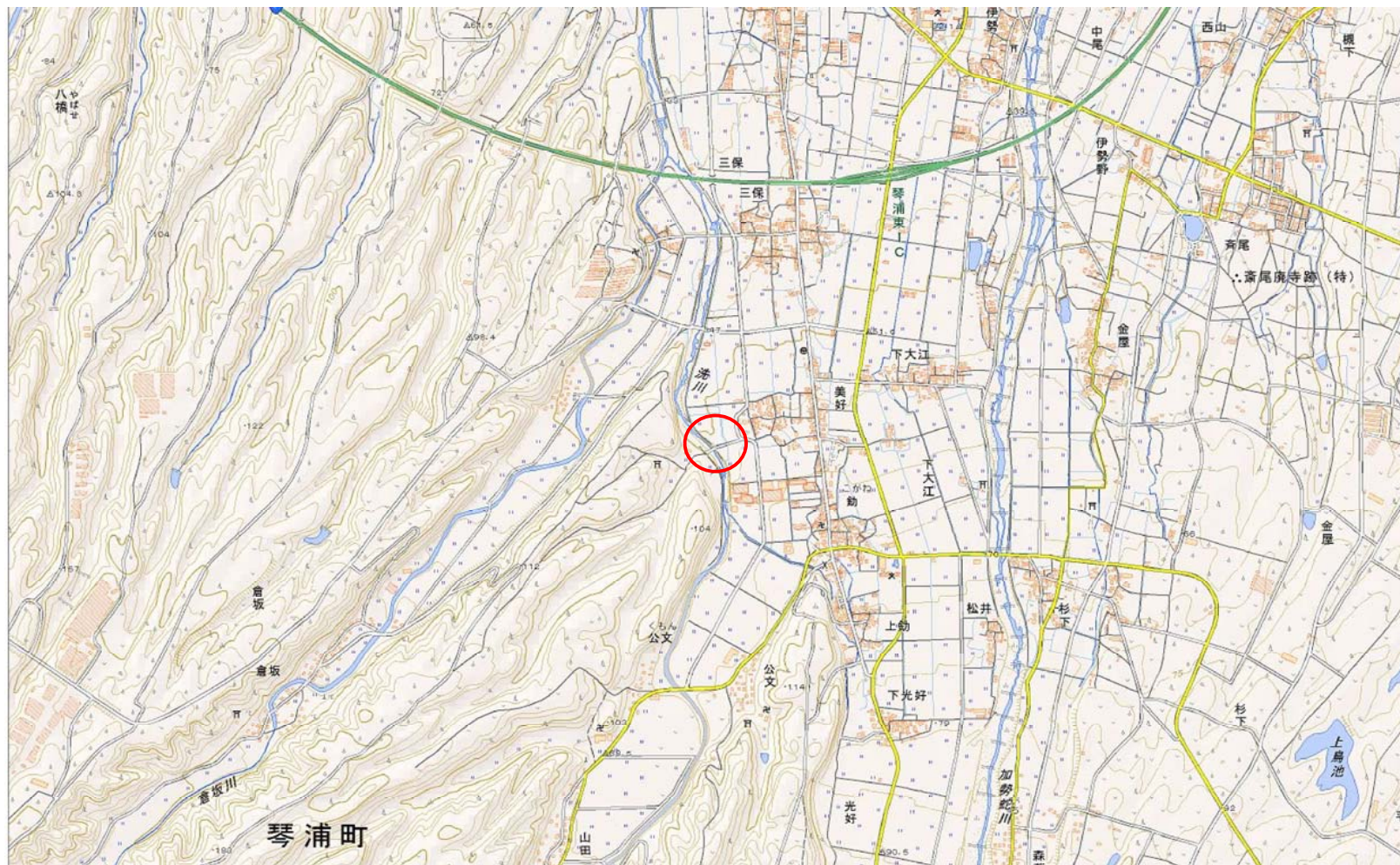
橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日	2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	由塚線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)

Non Scale

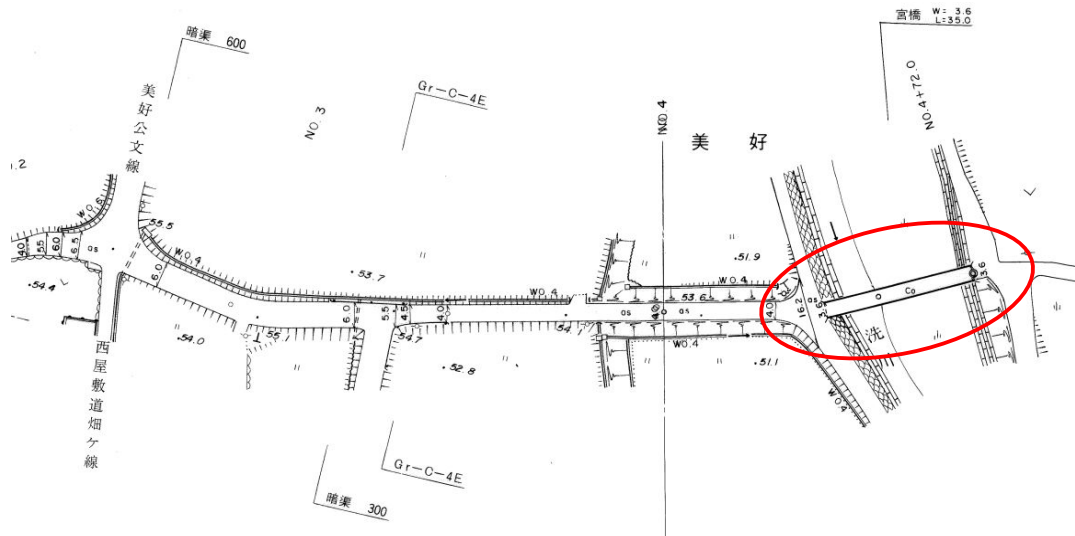


橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間	■点検日	2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	由塚線	

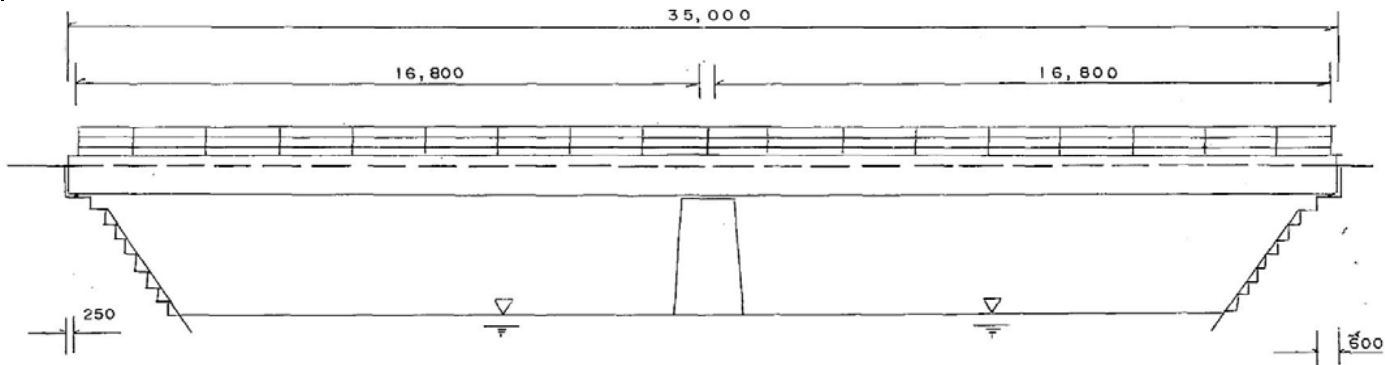
橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

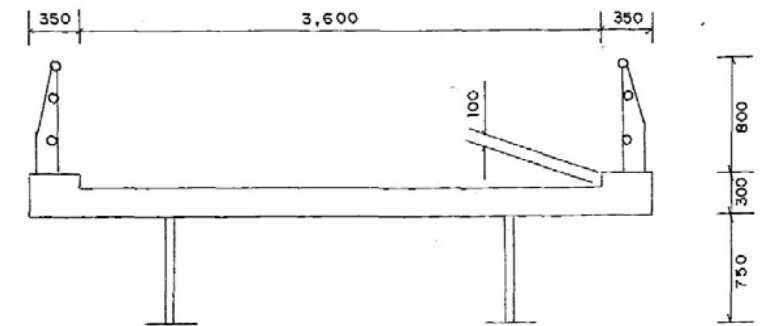
位置図



側面図



断面図



Non Scale

橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	点検日	2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42 (1967)	35.0m 2 鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	路線名	由塚線

定期点検調査その3

点検模式図

#

1/1

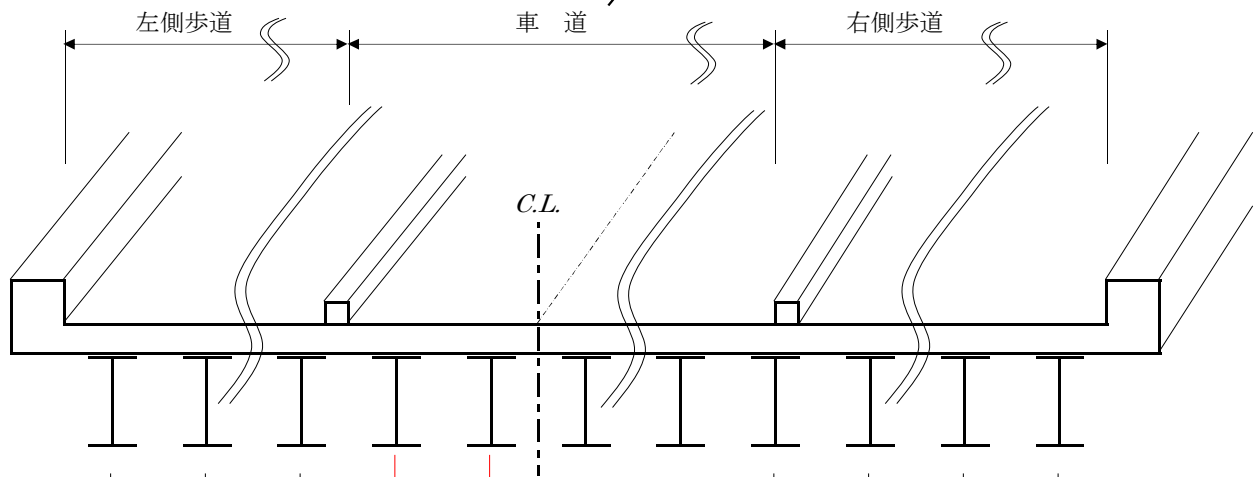
点検模式図（床版・主桁）

地名(・左右岸) : 起点側から終点側方向へ

至

字滝ノ前・左岸

※ 必要に応じて (A2→A1) などを追記する。



主桁

- ① 左側端耳桁 (構成数) 1 (通り)
- ② 左側歩道下主桁 (構成数) 0 (通り)
- ③ 車道下主桁 (構成数) 0 (通り)
- ④ 右側歩道下主桁 (構成数) 0 (通り)
- ⑤ 右側端耳桁 (構成数) 1 (通り)

1室の箱桁は③に区分する

※ RC床版橋, 中空床版橋の主桁通り数は全てゼロとする。

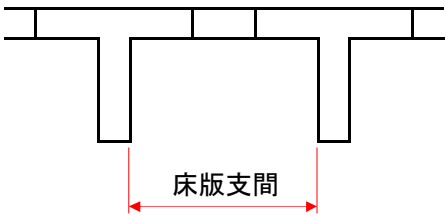
床版

- ① 左側端張出し (構成数) 1 (通り)
- ② 左側歩道下床版 (構成数) 0 (通り)
- ③ 車道下床版 (構成数) 1 (通り)
- ④ 右側歩道下床版 (構成数) 0 (通り)
- ⑤ 右側端張出し (構成数) 1 (通り)

RC, 中空床版橋は③のみを1とする

※ 歩道橋の“中央部床版通り”は②左側歩道下に含める。

T 桁の床版支間



- ⑥ 横桁, 縦桁 対傾・横構 トラス・アーチ部材 (構成数) 1 (部材)

※ ホロー桁の床版支間は考慮しない。

※ 床版, 主桁を要素番号別にグループ分け(5, 6区分)する。

※ 左側, 右側歩道等の要素がない場合は構成数をゼロとする。

※ 床版, 主桁とも"通り"の要素細分を 終点側に向かって 左から主桁(床版)01, 02, 03...主桁(床版)nとする。

※ 多径間の場合は"径間"ごとの要素細分をし、起点側から 主桁(床版)01, 02, 03...主桁(床版)nとする。

※ 個別の要素を特定する場合、"通り・径間"の順番を続けて 並べた 4ケタの要素細分"〇〇〇〇"で表現する。下図参照

◎主桁の要素細分

	橋台	径間01	橋脚	径間02	橋脚	径間n
起点側						
① 主桁01		0101		0102		01n
主桁02		0201		0202		02n
主桁03		0301		0302		
主桁04		0401		0402		
⋮						
⑤ 主桁n		n01		n02		
						終点側

※ 要素番号は丸囲み数字

※ 一般的な桁橋の床版は n+1 までの数字になる。

橋りょう番号・名称		ミヤバシ		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間		■点検日 2021/10/25		
371800633023-		宮橋		S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		由塚線		
定期点検調書その4 現地状況写真 # 1/4	起点側→ 終点側					1	終点側→ 起点側					2
												
	上 流→ 下 流					3	下 流→ 上 流					4
												

橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間	■点検日	2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	由塚線	

定期点検調書その4
現地状況写真

2/4

下部工(起点側)



下部工(終点側)



下部工(P1橋脚)



床版(下側から)



橋りょう番号・名称		ミヤバシ		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間		■点検日 2021/10/25	
371800633023-		宮橋		S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		由塚線	
定期点検調書その4 現地状況写真 # 3/4	9 支承等					10 伸縮装置					
						 起点側終点側					
	11 防護柵					12 橋名版					
 上流側下流側											

橋りょう番号・名称		ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間		■点検日 2021/10/25
371800633023-		宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	由塚線	
定期点検調書その4 現地状況写真 # 4/4	橋歴板			13			14
				15			16

橋りょう番号・名称			架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25				
371800633023- 宮橋			S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線			
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調書 その5 上部工・コンクリート床版評価 # 1/2	左側張出し床版	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26	幅=小, 間隔=密 :36	幅=中, 間隔=密 :46	幅=大, 間隔=密 :56		無	II	水切り部付近のかぶり不足による鉄筋露出は、水の供給による鉄筋腐食が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。乾燥収縮によるひびわれは、補修対象幅以下であるため、健全性に影響ないと判断し、経過観察とする。	塩害		
		構造物への影響小		幅=小, 間隔=粗 :11	幅=中, 間隔=粗 :21	幅=中, 間隔=粗 :37	幅=大, 間隔=粗 :47	せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ〃					疲労		
		1方向 床版ひびわれ	P. 79	無	幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31	幅=大, 間隔=密 :41	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち					7ル骨		
		2方向(格子状)						間隔0.2m、幅0.2mm、角落ち有 :52					中性		
		剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微							凍害		
		漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混 入がある									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
	構成する床版通り数 〔1〕 その1	補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる	※その他著しいもの、 除外する劣化要因は								
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常な たわみ	うき							
		構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26	幅=小, 間隔=密 :36	幅=中, 間隔=密 :46	幅=大, 間隔=密 :56		無	II	広範囲に橋軸直角方向のひびわれが観られ、一部橋軸方向に進展している。交通量が少ないことから疲労の可能性は低い が、ひびわれは比較的密に生じており、鉄筋腐食が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。	塩害		
		構造物への影響小		幅=小, 間隔=粗 :11	幅=中, 間隔=粗 :21	幅=中, 間隔=粗 :37	幅=大, 間隔=粗 :47	せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ〃					疲労		
		1方向 床版ひびわれ	P. 79	無	幅=中, 間隔=密 :22	幅=大, 間隔=粗 :31	幅=大, 間隔=密 :41	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち					7ル骨		
		2方向(格子状)						間隔0.2m、幅0.2mm、角落ち有 :52					中性		
		剥離鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微							凍害		
漏水遊離石灰錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混 入がある											
変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である											
構成する床版通り数 〔1〕 その1	補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる										
	その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視困難	無	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常な たわみ	うき								

橋りょう番号・名称			ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25				
371800633023-			宮橋	S42(1967)	35.0m 2 鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好			路線名	由塚線			
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)						緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分					
定期点検調査その5 上部工・コンクリート床版評価 #2/2	右側張出し床版 構成する床版通り数 〔 1 〕 その 1	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	Ⅱ	水切り部付近のかぶり不足による鉄筋露出およびうきは、水の供給による鉄筋腐食が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。乾燥収縮によるひびわれは、補修対象幅以下であるため、健全性に影響ないと判断し、経過観察とする。	塩害	
		1方向 床版ひびわれ 2方向(格子状)	P. 79	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	へアークラック程度 幅は0.1mm以下が主 間隔0.5m以上 :32 幅0.1mm以下が主	幅は0.1mm以下が主 幅0.2mm以下が主 間隔0.5~0.2m :42 幅0.2mm以下が主	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち 間隔0.2m、 :52 幅0.2mm、角落ち有		疲労					
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい				中性					
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある			凍害					
		変形・欠損	P. 100	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、除外する劣化要因は							
		補修・補強材の損傷	P. 74	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる								
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき						
	構成する床版通り数	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	Ⅱ	水切り部付近のかぶり不足による鉄筋露出およびうきは、水の供給による鉄筋腐食が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。乾燥収縮によるひびわれは、補修対象幅以下であるため、健全性に影響ないと判断し、経過観察とする。	塩害	
		1方向 床版ひびわれ 2方向(格子状)	P. 79	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	へアークラック程度 幅は0.1mm以下が主 間隔0.5m以上 :32 幅0.1mm以下が主	幅は0.1mm以下が主 幅0.2mm以下が主 間隔0.5~0.2m :42 幅0.2mm以下が主	幅0.2mm以上が主 :51 部分的な角落ち 間隔0.2m、 :52 幅0.2mm、角落ち有		疲労					
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい				中性					
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰または泥、錆び汁の混入がある			凍害					
		変形・欠損	P. 100	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である								
		補修・補強材の損傷	P. 74	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる								
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無 幅=小, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	抜け落ち 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滞水	異常なたわみ うき						

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋				S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)						緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)			
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調書 その6a 上部工・鋼主桁と横桁、 縦桁等評価 #1/3	左側端主桁 (耳桁) 構成する桁通り数 〔 1 〕 その 1	腐食	P. 38	:1 無	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51				主桁全体に防食機能の劣化が観られ、端部の垂直補剛材に腐食による断面減少が観られる。耐荷性能が低下している可能性が高いため、対策が必要である。 添接部のボルトにはF9Tが使用されている。			
		亀裂	P. 43	:1 無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31									
		ゆるみ脱落	P. 45	:1 無	ボルトのゆるみ・脱落の箇所が少ない :21	ボルトのゆるみ・脱落の箇所が多い :31									
		防食機能の劣化	P. 48	:1 無	塗装> 防食皮膜が変色または局所的なうき :21	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :31	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。								
					塗装> 防食皮膜が部分的剥離し下塗が露出 :22	防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :33									
					メッキ> 局所的に防食皮膜が劣化し点錆が発生 :23	メッキ> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :34									
					耐候性> 錆は 1~5mm程度で、粗い :24	耐候性> 錆は層状の剥離がある :34									
		耐候性> 錆は 5~25mm程度の鱗状 :25													
		定着部の異常	P. 92	:1 無	定着部のコンクリート :21 トのひびわれから錆汁定着部に損傷	定着部のコンクリート :31 が剥離定着部に著しい損傷									
		補修・補強材の損傷	P. 74	:1 無	軽微な損傷が見られる :21	著しい損傷が見られる :31									
変形・欠損	P. 100	:1 無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である											
遊間の異常	P. 85	:1 無	左右の遊間が :21 極端に異なる又は遊間が直角方向にずれている	遊間が異常に広い :31 継ぎ手の歯が完全に離れている又は桁とパレット、桁同士が接触している											
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難	:1 無	破断	変色 劣化	異常な音、振動	漏水 滯水	異常なたわみ								

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋				S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線	
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分					
定期点検調査 その6a 上部工・鋼主桁と横桁、 縦桁等評価 #2/3	右側端主桁 (耳桁) 構成する桁通り数 〔 1 〕 その 1	腐食	P. 38	:1 無	:21 深さ=小, 面積=小	:31 深さ=小, 面積=大	:41 深さ=大, 面積=小	:51 深さ=大, 面積=大		無	Ⅲ	主桁全体に防食機能の劣化が観られ、端部の垂直補剛材に腐食による断面減少が観られる。耐荷性能が低下している可能性が高いため、対策が必要である。 添接部のボルトにはF9Tが使用されている。		
		亀裂	P. 43	:1 無	:21 線状でない亀裂 線状でも短く、少数。	:31 線状の亀裂が生じている								
		ゆるみ脱落	P. 45	:1 無	:21 ボルトのゆるみ・脱落の箇所が少ない	:31 ボルトのゆるみ・脱落の箇所が多い								
		防食機能の劣化	P. 48	:1 無	塗装> 防食皮膜が変色または局所的なうき	:21 塗装> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。							
					塗装> 防食皮膜が部分的剥離し下塗が露出	:22 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生								
					メッキ> 局所的に防食皮膜が劣化し点錆が発生	:23 メッキ> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生								
					耐候性> 錆は 1～5mm程度で、粗い	:24 耐候性> 錆は層状の剥離がある								
		定着部の異常	P. 92	:1 無	:21 定着部のコンクリートのひびわれから錆汁定着部に損傷	:31 定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷								
		補修・補強材の損傷	P. 74	:1 無	:21 軽微な損傷が見られる	:31 著しい損傷が見られる								
		変形・欠損	P. 100	:1 無	:21 ・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	:31 ・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である								
遊間の異常	P. 85	:1 無	:21 左右の遊間が極端に異なる又は遊間が直角方向にずれている	:31 遊間が異常に広い 継ぎ手の歯が完全に離れている又は桁とパレット、桁同士が接触している										
その他著しいもの(損傷度 iii のもの)	目視困難	:1 無	破断	変色劣化	異常な音、振動	漏水 滯水	異常なたわみ							

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋				S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期 点検 調書 その 6a 上部工・鋼主桁と横桁、縦桁等評価 # 3/3	C6コ 横桁, 縦桁 対傾・横構 アーチ部材 トラス部材 構成する 桁通り数 〔 1 〕 その 1	腐食	P. 38	:1 無	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51		無	II	防食機能の劣化は広範囲に生じており、腐食に進展し断面減少が生じる前の予防的な対策が望ましい。			
		亀裂	P. 43	:1 無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31									
		ゆるみ 脱落	P. 45	:1 無	ボルトのゆるみ・ 脱落の箇所が少ない :21	ボルトのゆるみ・ 脱落の箇所が多い :31									
		防食機能の劣化	P. 48	:1 無	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき :21	塗装> :31	※その他著しいもの、 除外する劣化要因は 複数選択可とする。								
					塗装> 防食皮膜が 部分的剥離し下塗が露出 :22	防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生 :31									
					メッキ> 局所的に防食 皮膜が劣化し点錆が発生 :23	メッキ> 防食皮膜の 劣化範囲が広く点錆が発生 :33									
					耐候性> 錆は 1~5mm程度で、粗い :24	耐候性> :34									
			耐候性> 錆は 5~25mm程度の鱗状 :25	錆は層状の剥離がある :34											
		定着部の異常	P. 92	:1 無	定着部のコンクリート のひびわれから錆汁 定着部に損傷 :21	定着部のコンクリート が剥離 :31 定着部に著しい損傷									
		補修・補強材 の損傷	P. 74	:1 無	軽微な損傷が見られる :21	著しい損傷が見られる :31									
		変形・欠損	P. 100	:1 無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
		遊間の異常	P. 85	:1 無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている :21	遊間が異常に広い :31 継ぎ手の歯が完全に離れ ている又は桁とパレット、 桁同士が接触している									
		その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	:1 無	破断	変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滯水	異常な たわみ						

橋りょう番号・名称			ミヤバシ		架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種		事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25				
371800633023-			宮橋		S42(1967)	35.0m 2 鋼製桁		所在地	琴浦町大字三好		路線名	由塚線			
点検項目					変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調書その7 下部工・コンクリート橋台 # 1/1	① A1橋台 鉄筋の有無 [有筋]	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ〃		無	I	変状は観られない。	塩害		
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい							疲労		
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入がある							アル骨		
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリートのひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷							中性		
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。						凍害		
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		その他著しいもの(損傷度iiiのもの)	目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常なたわみ	うき							
		② A2橋台 鉄筋の有無 [有筋]	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ〃					無	I
	剥離 鉄筋露出		P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい				疲労					
	漏水 遊離石灰 錆汁		P. 71	無	漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じているが、錆汁はない	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入がある				アル骨					
	定着部の異常		P. 92	無	定着部のコンクリートのひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリートが剥離 定着部に著しい損傷				中性					
	変形・欠損		P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。			凍害					
	補修・補強材の損傷		P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
	その他著しいもの(損傷度iiiのもの)		目視困難	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動 漏水 滞水	異常なたわみ	うき							

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25			
371800633023- 宮橋				S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線			
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分							
定期 点検 調書 その7 橋台Co基礎	③ 基 礎 (Co)	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ //							塩害	
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無 :	剥離のみ生じている	鉄筋が露出しているが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、腐食が著しい :32									疲労	
		変形・欠損	P. 100	無 :	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									アル骨	
		沈下 移動 傾斜	P. 103	無 :		下部工が沈下・移動・傾斜している :31									中性 凍害	
		洗掘	P. 104	無 :	基礎が流水のため洗掘されている	基礎が流水のため著しく洗掘されている :31										
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難 :-1													
		定期 点検 調書 その7 橋台鋼基礎 # 1/1	③ 基 礎 (鋼製)	腐食	P. 38	無 :	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51						
亀裂	P. 43			無 :	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31										
防食機能の劣化	P. 48			無 :	塗装> 防食皮膜が変色または局所的なうき :21 塗装> 防食皮膜が部分的剥離し下塗が露出 :22 メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生 :33 耐候性> 錆は 1~5mm程度で、粗い :24 耐候性> 錆は 5~25mm程度の鱗状 :25	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :31 メッキ> 防食皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生 :33 耐候性> 錆は層状の剥離がある :34										
沈下 移動 傾斜	P. 103			無 :		下部工が沈下・移動・傾斜している :31										
洗掘	P. 104			無 :	基礎が流水のため洗掘されている	基礎が流水のため著しく洗掘されている :31										
その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難 :-1															

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋				S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期 点検 調書 その 8a 下部工・ コンクリート 橋脚評価 # 1/1	P1	構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "		無	Ⅱ	橋脚天端のかぶり 不足による鉄筋露 出は、鉄筋腐食が 進行すると橋座部 の耐荷性能が低下 する可能性がある ため、予防的な対 策が望ましい。乾 燥収縮ひびわれお よび遊離石灰は、 いずれも軽度であ るため、健全性に 影響ないと判断 し、経過観察とす る。	塩害		
		構造物への影響小											疲労		
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							アル骨		
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							中性		
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリート のひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリート が剥離 定着部に著しい損傷							凍害		
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である	※その他著しいもの、 除外する劣化要因は 複数選択可とする。								
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき							
		構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ :57 幅0.3mm以上の曲げ "					塩害		
		構造物への影響小											疲労		
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい							アル骨		
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて いるが、錆汁はない	ひびわれから 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある							中性		
		定着部の異常	P. 92	無	定着部のコンクリート のひびわれから錆汁 定着部に損傷	定着部のコンクリート が剥離 定着部に著しい損傷							凍害		
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である									
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる	著しい損傷が見られる									
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	異常な たわみ うき							

橋りょう番号・名称		ミヤバシ		架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25			
371800633023-		宮橋		S42(1967)		35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)							緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期点検調査 その9 支承部評価 # 1/1	① 支承 アンカ・ボルト含む 材質 〔鋼製〕	腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51		無	Ⅲ	支承の腐食は著しく、荷重支持機能は有していると判断するが、変位追随機能は低下している可能性があるため、対策が必要である。 支承周りの土砂詰りは点検時に撤去した。			
		亀裂	P. 43	無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31									
		ゆるみ脱落	P. 45	無	ボルトのゆるみ・ :21 脱落の箇所が少ない	ボルトのゆるみ・ :31 脱落の箇所が多い									
		遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が :21 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い :31 継ぎ手の歯が完全に離れ ている又は桁とパレット、 桁同士が接触している									
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる :21	著しい損傷が見られる :31									
		防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が :21 変色または局所的なうき	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生 :31									
					塗装> 防食皮膜が :22 部分的剥離し下塗が露出										
					メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生									メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生	
	沈下・移動・傾斜	P. 103	無		支点が沈下している :31 下部工が移動・傾斜										
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視困難 :1	無	破断 変色 劣化	異常な音、振動	漏水 - 滯水	土砂 詰り	支承の 機能障害								
										※その他著しいもの、除外する劣化要因は複数選択可とする。					

橋りょう番号・名称			架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種		事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25					
371800633023- 宮橋			S42(1967)	35.0m 2 鋼製桁		所在地	琴浦町大字三好		路線名	由塚線				
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)						緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分					
定期 点検 調査	① 舗 装	路面の凹凸	P. 86	無	路面の段差が 2cm未満	路面の段差が 2cm以上				無	Ⅱ	橋台背面の2cm程度の段差 は、車両走行性の低下や 歩行者の躓きが懸念され るため、予防的な対策が 望ましい。		
		舗装の異常	P. 87	無		舗装の ひびわれ幅が 5mm以上 過度のたわみが発生								
その10 路上部1・舗装、 伸縮装置等評価#1/1	② 伸縮装置	遊間の異常	P. 85	無	左右の遊間が 極端に異なる又は遊間が 直角方向にずれている	遊間が異常に広い 継ぎ手の歯が完全に離れ ている又は桁とバレット、 桁同士が接触している				無	Ⅱ	伸縮装置の漏水は主桁端 部、支承、下部工などの 劣化要因となるため、予 防的な対策が望ましい。		
		路面の凹凸	P. 86	無	路面の段差が 2cm未満	路面の段差が 2cm以上								
		止水機能		有		無								
		構造物への影響大 ひびわれ	P. 52	幅=小, 間隔=粗 幅=小, 間隔=密	幅=小, 間隔=粗 幅=中, 間隔=粗 幅=中, 間隔=密	幅=小, 間隔=密 幅=中, 間隔=粗 幅=中, 間隔=密	幅=中, 間隔=密 幅=大, 間隔=粗 幅=大, 間隔=密	幅=大, 間隔=密 せん断ひびわれ、 幅0.3mm以上の曲げ						
		腐食	P. 38		深さ=小, 面積=小	深さ=小, 面積=大	深さ=大, 面積=小	深さ=大, 面積=大						
		亀裂	P. 43	無	線状でない亀裂 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている								
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である								
		材質 不明	防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき 塗装> 防食皮膜が 部分的剥離し下塗が露出 メッキ> 局所的に防食 皮膜が劣化し点錆が発生	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生							
	その他著しいもの (損傷度iiiのもの)		目視 困難		破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	土砂 詰り	うき					
	③ 排水桝 排水管		防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が 変色または局所的なうき 塗装> 防食皮膜が 部分的剥離し下塗が露出 メッキ> 局所的に防食 皮膜が劣化し点錆が発生	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生				無	Ⅱ	排水管の腐食穴は、局所 的であるため現時点で排 水機能に影響はないが、 大きな腐食欠損が生じる 前の予防的な対策が望ま しい。	
			腐食	P. 38		深さ=小, 面積=小	深さ=小, 面積=大	深さ=大, 面積=小	深さ=大, 面積=大					
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 ・著しい機能低下である								
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難		破断 変色 劣化	異常な 音, 振動	漏水 滞水	土砂 詰り						

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋				S42 (1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名	由塚線		
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性	健全性 評価	所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)	除 外 できる 要因の 抹 消
□	要素	変状	参照	i	ii	iii	iv	v	最大変状 要素細分						
定期 点検 調書	① 地 覆 (コンクリート)	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無 :1 幅=小, 間隔=粗 :11 幅=小, 間隔=密 :12	幅=小, 間隔=粗 :26 幅=中, 間隔=粗 :21 幅=中, 間隔=密 :22	幅=小, 間隔=密 :36 幅=中, 間隔=粗 :37 幅=大, 間隔=粗 :31	幅=中, 間隔=密 :46 幅=大, 間隔=粗 :47 幅=大, 間隔=密 :41	幅=大, 間隔=密 :56 せん断ひびわれ, :57 幅0.3mm以上の曲げ //			無	I	変状は観られな い。	塩害	
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無 :1	剥離のみ生じている :21	鉄筋が露出して いるが、腐食は軽微 鉄筋が露出し、 腐食が著しい :32			疲労						
		変形・欠損	P. 100	無 :1	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である			7ル骨						
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無 :1	漏水が生じているが、 :21 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて :22 いるが、錆汁はない	ひびわれから :31 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある			中性						
		補修・補強材の損傷	P. 74	無 :1	軽微な損傷が見られる :21	著しい損傷が見られる :31			凍害						
		その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難	:1 無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動 漏水 滞水	異常な たわみ うき								
		その11 路上部2・地覆, 評価# 1/1	① 地 覆 (鋼製)	腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小 :21	深さ=小, 面積=大 :31	深さ=大, 面積=小 :41	深さ=大, 面積=大 :51					
亀裂	P. 43			無 :1	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。	線状の亀裂が生じている :31									
ゆるみ 脱落	P. 45			無 :1	ボルトのゆるみ・ :21 脱落の箇所が少ない	ボルトのゆるみ・ :31 脱落の箇所が多い									
変形・欠損	P. 100			無 :1	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い	・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である									
補修・補強材の損傷	P. 74			無 :1	軽微な損傷が見られる :21	著しい損傷が見られる :31									
防食機能の劣化	P. 48			無 :1	塗装> 防食皮膜が :21 変色または局所的なうき 塗装> 防食皮膜が :22 部分的剥離し下塗が露出 メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生	塗装> 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生 :31 メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生									
その他著しいもの (損傷度 iii のもの)	目視 困難			:1 無	破断 変色 劣化	異常な 音, 振動 漏水 滞水	異常な たわみ								

橋りょう番号・名称				架設年(西暦)		橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡				■点検日 2021/10/25					
371800633023- 宮橋				S42 (1967)		35.0m 2 鋼製桁		所 在 地		琴浦町大字三好		路線名		由塚線					
点検項目				変状度 (劣化・損傷度)								緊急 処理の 必要性		健全性 評価		所 見, 補 足 (状況・要素細分) (補修等)		除 外 できる 要因の 抹 消	
□	要素	変状	参照	i	ii		iii		iv		v		最大変状 要素細分						
定期 点検 調書 その11 路上部3・高欄、 評価# 1/1	② 鋼製高欄 防護柵 (ガードレール)	腐食	P. 38	:1	深さ=小, 面積=小 :21		深さ=小, 面積=大 :31		深さ=大, 面積=小 :41		深さ=大, 面積=大 :51			無	Ⅱ	防食機能の劣化が観られ、横梁部に局所的な腐食穴が生じている。腐食が進行し、防護機能が低下する前の予防的な対策が望ましい。			
		亀裂	P. 43	無	線状でない亀裂 :21 線状でも短く、少数。		線状の亀裂が生じている :31												
		ゆるみ 脱落	P. 45	無	ボルトのゆるみ・ :21 脱落の箇所が少ない		ボルトのゆるみ・ :31 脱落の箇所が多い												
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い		・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である												
		補修・補強材 の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる :21		著しい損傷が見られる :31												
		防食機能の劣化	P. 48	無	塗装> 防食皮膜が :21 変色または局所的なうき		塗装> :31 防食皮膜の劣化範囲が 広く点錆が発生												
					塗装> 防食皮膜が :22 部分的剥離し下塗が露出														
					メッキ> 局所的に防食 :23 皮膜が劣化し点錆が発生		メッキ> 防食皮膜の :33 劣化範囲が広く点錆が発生												
	その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	:1 無	破断 変色 劣化		異常な 音, 振動		漏水 滞水		異常な たわみ									
	③ Co高欄 (壁式)	構造物への影響大 ひびわれ 構造物への影響小	P. 52	無	幅=小, 間隔=粗 :26		幅=小, 間隔=密 :36		幅=中, 間隔=密 :46		幅=大, 間隔=密 :56					せん断ひびわれ、 :57 幅0.3mm以上の曲げ //	塩害 疲労 アル骨 中性 凍害		
				幅=小, 間隔=粗 :11	幅=中, 間隔=粗 :21		幅=中, 間隔=粗 :37		幅=大, 間隔=粗 :47										
				幅=小, 間隔=密 :12	幅=中, 間隔=密 :22		幅=大, 間隔=粗 :31		幅=大, 間隔=密 :41										
		剥離 鉄筋露出	P. 69	無	剥離のみ生じている :21		鉄筋が露出してい :31 るが、腐食は軽微												
		漏水 遊離石灰 錆汁	P. 71	無	漏水が生じているが、 :21 錆汁や遊離石灰はない 遊離石灰が生じて :22 いるが、錆汁はない		ひびわれから :31 著しい漏水や遊離石灰 または泥、錆び汁の混入 がある												
		変形・欠損	P. 100	無	・局部的に変形、欠損 :21 ・著しい機能低下は無い		・著しい変形、欠損 :31 ・著しい機能低下である												
		補修・補強材の損傷	P. 74	無	軽微な損傷が見られる :21		著しい損傷が見られる :31												
		その他著しいもの (損傷度iiiのもの)	目視 困難	:1 無	破断 変色 劣化		異常な 音, 振動		漏水 滞水		異常な たわみ うき								

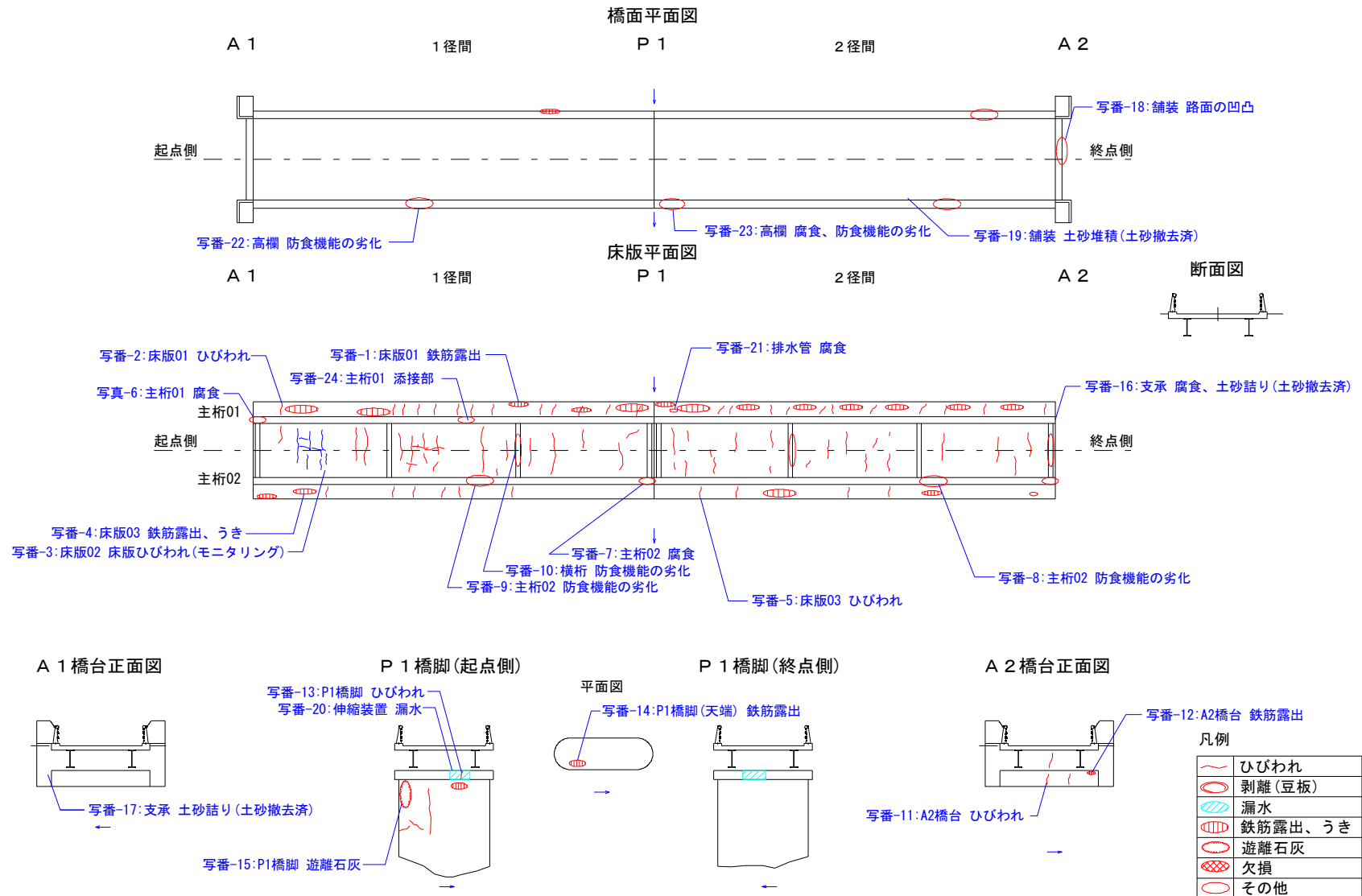
橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日	2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967)	35.0m	2	鋼製桁	所在地	琴浦町大字三好	由塚線	

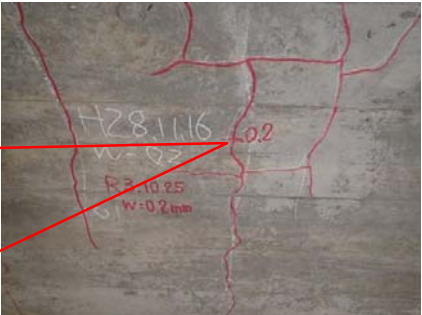
定期点検調査その12

変状位置図

1/1

変状位置図



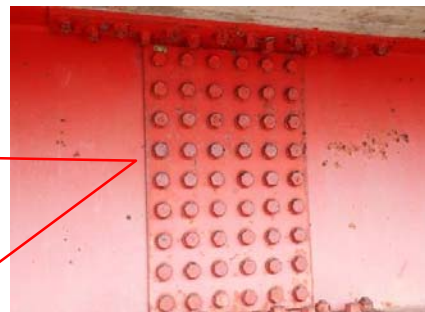
橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日 2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁	所在地 琴浦町大字三好	由塚線
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 1/6	写番 1: 床版01 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度: iii ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 		写番 2: 床版01 損傷状況: ひびわれ 損傷度: i ※写番の後は 部材名+要素  	
	写番 3: 床版02 損傷状況: 床版ひびわれ (モニタリング) 損傷度: iii ※写番の後は 部材名+要素  		写番 4: 床版03 損傷状況: 鉄筋露出、うき 損傷度: iii、iii ※写番の後は 部材名+要素  	

橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日 2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁	所在地 琴浦町大字三好	由塚線
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 2/6	写番 5: 床版03 損傷状況: ひびわれ 損傷度: i 		写番 6: 主桁01 損傷状況: 腐食 損傷度: iv ※写番の後は 部材名と箇所  	
	写番 7: 主桁02 損傷状況: 腐食 損傷度: iv ※写番の後は 部材名と箇所  		写番 8: 主桁02 損傷状況: 防食機能の劣化 損傷度: iii ※写番の後は 部材名と箇所  	

橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日 2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁	所在地 琴浦町大字三好	由塚線
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 3/6	写番 9: 主桁02 損傷状況: 防食機能の劣化 損傷度: iii ※写番の後は 部材名主要素  		写番 10: 横桁 損傷状況: 防食機能の劣化 損傷度: iii ※写番の後は 部材名主要素  	
	写番 11: A2橋台 損傷状況: ひびわれ 損傷度: i ※写番の後は 部材名主要素  		写番 12: A2橋台 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度: ii ※写番の後は 部材名主要素  	

橋りょう番号・名称		ミヤバシ		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25	
371800633023-		宮橋		S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		由塚線	
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 4/6	写番 13: P1橋脚 損傷状況: ひびわれ 損傷度: i ※写番の後は 部材名+要素					写番 14: P1橋脚(天端) 損傷状況: 鉄筋露出 損傷度: iii ※写番の後は 部材名+要素					
											
	写番 15: P1橋脚 損傷状況: 遊離石灰 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素					写番 16: 支承 損傷状況: 腐食、参考: 土砂詰り(土砂撤去済) 損傷度: v、i ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等					
											

橋りょう番号・名称	ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡	■点検日 2021/10/25
371800633023-	宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁	所在地 琴浦町大字三好	由塚線
定期点検調査その13 劣化・損傷状況写真 # 5/6	写番 17: 支承 損傷状況: 参考: 土砂詰り (土砂詰り撤去済) 損傷度: i ※写番の後は 部材名+要素  		写番 18: 舗装 損傷状況: 路面の凹凸 損傷度: ii ※写番の後は 部材名+要素  	
	写番 19: 舗装 損傷状況: 参考: 土砂堆積 (土砂撤去済) 損傷度: i ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 		写番 20: 伸縮装置 損傷状況: 止水機能、漏水 損傷度: iii、iii ※写番の後は 部材名+要素  	

橋りょう番号・名称		ミヤバシ	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡		■点検日 2021/10/25	
371800633023-		宮橋	S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁		所在地		琴浦町大字三好		由塚線	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 6/6	写番 21: 排水管 損傷状況: 腐食 損傷度 : iv ※写番の後は 部材名を要索				写番 22: 防護柵 損傷状況: 防食機能の劣化 損傷度 : iii ※写番の後は 部材名を要索					
										
										
	写番 23: 防護柵 損傷状況: 腐食 損傷度 : iv ※写番の後は 部材名を要索				写番 24: 主桁01 損傷状況: ボルトF9T 損傷度 : 参考 ※写番の後は 部材名を要索					
										
										

■ ミヤバシ			■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種			琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■ 点検日 2021/10/25		
371800633023- 宮橋			■ S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁			琴浦町大字三好			由塚線		
定期点検調書 その14 概算数量 # 1/1	項 目	単位	概算数量	摘 要 (精 度)			適 用 部 材 ・ 工 法	単位	算出数量	摘 要 (算 定 式)	
				資料	図測	推定					
	コンクリート主桁本数	本					①床版上面 (床版防水, 上面増厚)	m ²	115.5	(B-0.5×2)×L	
	コンクリート主桁高	m					①床版下面 (炭素繊維接着, 鋼板接着, 断面修復)	m ²	168.0	床版支間×L×(F-1)×α	
	コンクリート主桁下幅	m					①鋼主桁, 横桁, 縦桁等 (再塗装)		180	鋼橋塗装面積	
	コンクリート横桁本数	本					①Co. 主桁 (表面塗装, 断面修復, 電気防食)	m ²	0.0	(主桁高×2+下幅)×L×N×α	
	コンクリート横桁長 (平均)	m					①Co. 横桁 (〃)	m ²	0.0	(〃)×横桁長×本数×α	
	鋼橋塗装面積	m ²	180			○					
	A1橋台高 (フーチング除く)	m	1.80		○		②A1橋台 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修, 含浸材塗布, 鋼板接着等)	m ²	5.9	A1H×(B-0.5×2)×α	
	A2橋台高 (〃)	m	1.80		○					A1H×(B-0.5×2)×α	
							③A2橋台 (〃)	m ²	5.9	A2H×(B-0.5×2)×α	
	P1コンクリート橋脚高 (〃)	m	3.90		○		④ ₋₁ P1コンクリート橋脚 (〃)	m ²	37.4	P1H×(W+T)×2×α	
	P2コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₂ P2コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P2H×(W+T)×2×α	
	P3コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₃ P3コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P3H×(W+T)×2×α	
	P4コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₄ P4コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P4H×(W+T)×2×α	
	P5コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₅ P5コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P5H×(W+T)×2×α	
	P6コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₆ P6コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P6H×(W+T)×2×α	
	コンクリート橋脚幅 (加重平均)	m	3.70		○		⑤支承 (取替え)	基	8	支承基数	
	コンクリート橋脚厚	m	1.10		○		⑥舗装 (打替え)	m ²	115.5	(B-0.5×2)×L	
	鋼製橋脚塗装面積	m ²					⑦伸縮装置 (取替え)	m	9.9	(B-0.5×2)×(径間数+1)	
							⑧地覆 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修等)	m ²	105.0	0.5×6×L×α	
	鋼製高欄塗装面積(要塗装のとき"1")	m ²					⑧鋼製高欄 (再塗装ほか補修)	m	70	L×2	
	コンクリート高欄高	m					⑧コンクリート高欄 (取替え)	m	70.0	L×2	
	支承基数(ベタの場合は面積:m ²)	基・m ²	8		○		⑧ガードレール防護柵 (取替え)	m	70.0	L×2	
	落橋防止装置	基									
							①全面吊り足場	m ²	150.5	B×L	
							②, ③橋台枠組足場 (合計)	掛m ²	11.9	AnH×(B+0.5×2)	
	補修橋長 (諸元の橋長と不一致のとき)	m					④橋脚枠組足場 (合計)	掛m ²	53.0	PxH×(W+T+2.0)×2×構成数	
	補修幅員 (諸元の幅員と不一致のとき)	m									
							○詳細調査, 補修実施設計	式	1	あわせて 1式とする	

※ 計算式の記号は L:橋長, B:全幅員, F:床版通り数, N:主桁通り数, AnH:An橋台高, PxH:Px橋脚高, W:橋脚幅, T:橋脚厚とする。
αは補修率 (面補修のとき:1.0, 厚さ補修のとき:厚さ)を示す。

橋りょう番号・名称		ミヤバシ				■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福間		■ 点検日 2021/10/25	
371800633023-		宮橋				■ S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁		琴浦町大字三好		由塚線	
定期点検調書その15 補修履歴・補修後の変状発生と時期 # 1/1	番号	補修時期 (西暦)	目的・対策要因	補修部材	補修工法	補修内容・数量	表面被覆材の変状発生・時期		断面修復材の変状発生・時期		
							はくり	はらみだし	変色・劣化	変形・欠損	
	最新1										
	最新2										
	最新3										
	最新4										
	最新5										
	最新6										
	最新7										
	最新8										
	最新9										
	最新10										

※ 補修後の変状は、無ければ“-”，あれば日付を記入する。

橋りょう番号・名称		ミヤバシ			■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種			琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 齋藤、福岡			■ 点検日 2021/10/25	
371800633023-		宮橋			■ S42(1967) 35.0m 2 鋼製桁			琴浦町大字三好			由塚線	
定期点検調査その16 詳細調査履歴#1/1	番号	調査時期 (西暦)	目的・対策要因	対象部材	詳細調査項目 (コア抜きには塩分量, Co強度および中性化を含む)				補修工法	補修内容・数量等		
					詳細ひびわれ	はつり(鉄筋腐食)	コア抜き	アル骨(残存膨張)				

※ 詳細調査資料は、“橋りょう番号”+“番号”のフォルダにまとめておく。